

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年12月17日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670104134
法人名	医療法人 春風会
事業所名	グループホーム はるかぜ滝の神
所在地	鹿児島県鹿児島市吉野町1044番地9 (電話) 099-243-2268
自己評価作成日	平成23年11月26日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://kaken-shakyo.jp/kohyo
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成23年12月13日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者の笑顔を第一に考え、いつも笑って過して頂ける様に利用者の要望を取り入れた行事計画を立てたり、日々の生活の中でマンネリにならない様なレクリエーションや職員の接し方を考えています。又、利用者一人一人性格や認知症の状態も違いその日その日の状態も違う為、個々の利用者に合わせてケアの方法を職員で検討し実行しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・ホームは市北部の高台にあり、錦江湾を眺望することができる。また、四季を通して、木々の移り変わりを楽しめる場所にある。
- ・ホーム内は、清潔に保たれ環境も良好で、身体機能を維持しながらその人らしい暮らしができるように、全職員が理念に沿って支援している。
- ・入居者一人ひとりのケアについて、管理者と職員は頻繁に意見交換を行い取り組んでいる。
- ・運営会議は円滑にまた有意義に行われ、災害時における対応について話し合ったり、地域行事の参加や交流が推進されている。
- ・医療法人が母体となっており、中核となる協力医療機関による健康管理面での充実した支援体制や近隣の医療機関との連携により、安心してケアを受けられるようになっている。
- ・市担当者との連携も密であり、事業所・職員・医療・行政が一体となって支援し、入居者と家族の安心につながっている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝申し送り後に、スタッフ全員で理念を唱和し理解するようにしている。スタッフが共有することにより、理念に沿ったケアが取り組んでいけるように努めている。	グループホームの理念を基に、事業所としての具体的な取り組みを全職員で共有し検討を加え、ケアサービスができるように努めている。毎日の理念唱和のほか、実践状況の振り返りも毎月のミーティング時に行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の運動会や夏祭りに参加したり、日常の散歩や外気浴時に近隣住民と挨拶や会話をしたりと交流をしている。	地域への参加や散歩中のあいさつや会話を通じて、日常的に地域の交流に努めている。運営推進会議を活かした取り組みや災害時の協力体制もできている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	町内会に加入し、地域住民への認知症の理解を目的とした勉強会等の提案を町内会長に行っているが、実践されていない。近隣の方が訪問した際、パンフレットを渡して分かりやすく伝えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現在取り組んでいる内容を報告し、意見をもらうようにしている。事業所の取り組みや具体的な課題を話し合い、地域の理解を得ている。	会議は定期的開催されている。入居者の現状やサービスの状況、外部評価の報告及び今後の取り組みや具体的な課題について意見交換をして、サービスの向上に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	吉野支所、鹿児島市役所、地域包括支援センターと連携を図り、常に行き来している。認定更新の際、担当者へ利用者の近況報告を伝え、連携を深めている。	市担当者や地域包括支援センターと常に連携を取り、ホームの現状、入居者の近況報告をしている。また、意見やアドバイスをもらって、協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	スタッフ全員が身体拘束の無いケアを認識し実践している。又、年間行事の中に身体拘束の勉強会を取り入れ研修を行っている。現在身体拘束は行っていない。	身体拘束の具体的な行為を、全職員が理解するための勉強会を実施し、毎月のミーティング時に実態状況を点検確認している。意見を出し合い、直接的な身体拘束のみならず、玄関の施錠、言葉の拘束にも注意を払い、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされないよう注意を払い、防止に努めている	施設内勉強会を実施し理解を深め周知徹底されるよう努めている。入居者様の自由な暮らしを支え、心理的にも圧迫を掛けない様に配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	研修等での発表をミーティングで行い、全員が権利擁護に関する理解を行っている。現在問合せ等はない。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	常に利用者様の立場に立ち、十分な説明を行っている。不安や疑問に感じる点は時間を掛け丁寧に説明している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関先に意見箱を設置し様々な意見を頂ける様にしている。又、御家族の来訪の際要望や意見を頂き、ミーティング等で議題にあげ、検討改善に繋げている。	入居者や家族の面会時に、積極的に意見を引き出せるよう声かけをしている。出された意見や要望は、記録に残しミーティングで検討し、具体的に改善し、運営に反映している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	ミーティングでお互いの意見や提案を聞き、現場で改善可能であれば反映させ、代表者へ報告して改善検討を行っている。	代表者は、現場でのケアの向上について、意見や提案を積極的に出すように、推進している。意見は、グループホーム管理課で検討され、運営改善を行いサービス向上に反映している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	現在の状況を代表者が把握し、職場環境等の改善や整備を行っているが、目に見える数字としては反映されていない。		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	研修の参加等率先して行い、職員のスキルアップに向けた取り組みを行っている。		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	職員研修でのグループワークを通じて同業者との交流が測れている。又、他施設での取り組み方、ケアの方法を聴く事でサービスの質の向上に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	十分な情報交換を行い、不安な事や困っている事を把握する様努めている。不安を理解したり、思いを受け止め信頼関係を作る様に努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	重要事項説明書にて、御家族に同意を得ている。御家族の思いを汲み取りゆっくりと話し合いをする事に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や御家族に十分な説明を行った上で納得のいくように支援している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	それぞれの人生観を捉え支援している。一つの家族という思いでお互いがぶ共同生活をしながら和やかな生活が出来る様雰囲気作りを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	本人が家族と触れ合う機会を作っている。日常生活の様子を伝えたり意見を聞いたりして本人を支える関係を築いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族からの情報を頂いたり、本人と会話をしながらどんな生活をしていたのか確認・把握に努めている。友人等が来訪された際は、ゆっくりと過す時間を作っている。	本人や家族から以前の生活情報や希望を聞き、美容院や墓参り等、できる限りの支援をしている。友人が面会に来やすいように、馴染みの関係が途切れない支援をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	束縛のない自由な生活を送れるよう支援し、1人1人の利用者の気持ちを尊重し、話を傾聴する事でお互い良い関係が持続できるよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	本人・家族と協議の上納得のいく支援を行っている。十分な説明を行い、サービス終了後も相談や助言を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人とゆっくり話を聞く時間を作り家族、職員が一緒になり希望を伺い意向や状況の把握に努めている。言葉、表情からも思いに気づきそれぞれ意見を集め検討している。	日常の会話やそぶり・表情・家族の話などから、本人の意向や思いを把握している。家族や職員が一体となって、個々の要望に応えられるように支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	御本人、家族からも情報を聴いたり、これまでの生活歴を知り確認・把握に努めている。本人の暮らしてきた環境に近い暮らしが送れるよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員は利用者の健康状態をよく観察し、出来る事・持っている力を把握する様に努めている。一人一人の身体状況や生活リズム又、精神的においても、出来る事や持っている力を発揮できるよう支援している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日頃の関わりの中から本人の思いや御家族の意見を聴き反映させている。又、ミーティング等で職員全員の意見を聴き、本人や家族の要望を照らし合わせながら介護計画を作成している。	ケアの課題について、具体的に本人の意向や家族の意見を聞き、毎月カンファレンスを行って介護計画を作成している。全職員で、3ヶ月ごとにモニタリングを行い、6ヶ月ごとに本人の現状に合わせて介護計画を見直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	個別にファイルを用意し身体状況及び日々の暮らし、様子や本人の言葉等を詳しく記録し、職員間で共有しながら介護計画の実施や見直しを行っている。本人の状態、変化は個々のケア記録に記載している。		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	本人、家族の状況に応じて受診の送迎等、必要な支援は柔軟に対応し満足頂ける様に努めている。家族の要望を聴きながら必要に応じた支援が出来るように努力している。		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	町内会にも加入し、行事等にも参加し地域の方との交流を図っている。又、緊急時に備え消防署（吉野分遣隊）の協力を頂き防災訓練を行っている。		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	本人家族が希望するかかりつけ医との連携を図っている。基本的には家族同行の受診となる旨を説明し利用契約時に同意を得ているが受診できない場合は、職員が代行付添いで支援している。	本人や家族が希望するかかりつけ医の受診を支援している。協力医療機関や専門医とも連携を図って、信頼関係を築きながら適切な医療が受けられる支援体制となっている。受診は家族の協力を得ながら支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	現在、GHには看護師がいない為、母体の病院看護師に状況説明し受診・看護を受けられる様支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には情報提供書発行し、入院、治療が迅速かつスムーズに行える様に努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	日頃から医療機関と密に連絡を取り、情報の共有化を図り、体調変化に迅速に対応できる様に努めている。	重度化した場合や終末期等、本人や家族に、意向や希望を確かめ、事業所として対応しうるケアの説明をしている。利用者の体調については、日ごろから医療機関と密に連携をとり、情報の共有化を図り、適切な支援に努めている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	必要時には24時間体制のホットラインを利用し夜間でも相談できる体制を整えている。勉強会や消防による救命救急の講習や訓練を受講している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>運営推進会議等、地域の方へ協力を呼びかけ協力を得ながら避難訓練を行っている。</p>	<p>消防署の指導のもと、年2回夜間想定避難訓練を行っている。水害の場合、2階へ移動する訓練も行っている。火災報知器やスプリンクラーも設置している。災害用の備蓄は検討中である。今後、地域との連絡網を取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉掛けには十分配慮、注意し大きな声で利用者様の話をしない様にしている。排泄・入浴介助時は扉の開閉等注意しプライバシーの確保に努めている。	個々人の自尊心や誇り・人格・プライバシーに細心の注意を払い、ケア中の言葉かけなどに配慮している。個人ファイル等の記録類は適切に保管され、関係機関の情報提供は、契約時に説明し同意を得ている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日頃の会話を通して、個々のしたい事や好きな事の思いを聞き取り、日常生活の中で自己決定して頂いている。言語的コミュニケーションが困難な利用者様にもこれまでの生活歴、表情、動作から読み取り自己決定できるように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の体調やペースに合わせて出来るだけ希望に添えるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	着用する服は本人の意向で選んで頂き、訪問美容利用の際は、本人希望の整容を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	各利用者様の出来る範囲で下準備、調味、片付けを一緒に行い、同じテーブルで食事をしながら食材・味付けについて会話をし楽しめるよう支援している。	栄養士の助言を貰いながら、メニューに入居者の好みを反映させ、行事食にも力を入れている。それぞれの能力に合わせて調理等を一緒に行い、食事しながら会話を楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分摂取の状況をスタッフ間で把握し、利用者様への声掛けし出来るだけ水分・栄養バランス良く摂取できるよう支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、利用者様の口腔状態に合わせた声掛け口腔ケアを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者様それぞれの排泄状態を把握し、トイレにて気持ちよく排泄出来るよう支援している。	排泄介助が必要な入居者に対して、排泄パターンや癖を把握し、声かけや誘導によってトイレでの排泄の自立を支援している。リハビリパンツやパットの利用を減らすように、工夫しながら支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	朝食前に、牛乳を飲んで頂き、毎日スムーズに排泄（便）出来るよう、食事面にも配慮し支援している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	利用者様の生活リズムに合わせて快適に入浴出来る様温度や時間等を工夫し、希望に沿った入浴を支援している。しかし日勤帯だけで夜間帯の入浴は現在出来ていない。	定期的な入浴のほか、入居者の希望にあわせて、温度や時間や順番・見守りの仕方等を工夫し、気持ちよく入浴できるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	各利用者様それぞれの居室の寝具等清潔に努め、自由な時間に安心して休んで頂ける様支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬状況を把握できるよう個々のカルテを整理している。症状変化があった場合はすぐに主治医との連携を取って対応している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	それぞれの利用者様に応じた家事参加や楽しみ事を理解し、支援している。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	利用者様の要望に応じて、年に数回外食・外出等、御家族様にも参加して頂いている。天候や体調、その日の気分によりドライブや外気浴へ出かけられる様支援している。	日常的には、畑に出たり、散歩をしたり、外出の支援をしている。また、ドライブや水族館等の見物に出かけたり、家族の協力を得ながら、外食等の外出支援をしている。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	本人で金銭管理を行っている方はいないが、本人の希望をを聴き一緒に買い物をした際に支払を行って頂く場合もある。		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	手紙や電話を日常的に利用できるようにプライバシーに配慮し支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節ごとにディスプレイを変え季節感を感じて頂けるように努めている。一緒に飾り付けをしたり、作成する事で季節感を感じてもらい楽しんで過せるように努めている。	ホールは、匂いや温度・湿度や風や光に注意し、普段の家庭の生活が感じられるように工夫している。また、壁などに季節の飾りがされ、季節の花が活けられており、居心地のよい共用空間である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	和室等も利用し、利用者が過したい場所で自由に過せるように支援している。又利用者同士が思い話が出来る様に、座席の位置を考慮している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	長年使いなれたものを持って来て頂いたり、レクリエーションで作った作品を部屋に飾ったりしている。	居室は十分な広さがあり、馴染みの物や家具・仏壇等を持ち込み、家族とともに慣れ親しんだ環境を作り上げている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや浴室、廊下に手すりを設置し安全に過せるようにしている。又トイレや浴室や居室も理解できるようにサインプレートを付けている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない